

4月

3日 福原愛選手がANA所属に

2005年度、2006年度にスポンサー契約を結んでいた福原愛選手と所属契約を締結。国際試合を中心に福原選手の海外渡航等を全面的にバックアップ!



12日 スターフライヤーとの国内線共同運航(コードシェア)開始を発表!(6/1搭乗分～)

(株)スターフライヤー(以下SFJ)と、コードシェア運航に合意。SFJが運航する羽田～北九州間、1日10往復20*便が対象。
*当該便はSFJによる運航のため、ANAでご予約のお客様についても、羽田空港第1ターミナルでの出発、到着となります。
*SFJ93便/SFJ70便はコードシェア対象外。

13日 ANAグループホテル

関連子会社14社の全株式等の譲渡を決議

『2006-2009年度 中期経営戦略』(2006年1月31日発表)に則り、直営ホテルに関連する株式等の資産を譲渡。(6/1付実施)

16日 2007年7月～9月ご搭乗分に『介護割引』を設定
介護保険の要介護認定を受けた方のご家族を対象に、「介護する方」と「介護される方」の最寄の空港を結ぶ1路線が割引となる運賃。事前に発行される『ANA介護パス』の提示が必要。

5月

9日 ボーイング787にエレクトロニック・フライト・バッグ(EFB)の導入を発表

2008年に導入するボーイング787型機に、ボーイング・エレクトロニック・フライト・バッグを搭載予定。5月からシステム習熟のため、777-300ER型機に日本の航空会社で初めてEFBを導入。航空機内の情報を電子化したフライトデッキコンピュータシステムにより、運航時の安全性や効率性の向上を図る。



EFB搭載図(イメージ)

30日 アシアナ航空との戦略的提携に合意

株式の相互保有等、さまざまな分野で戦略的パートナーシップを構築し、さらなるネットワークの拡充と相互協力を実施。

■アシアナ航空

代表者 代表取締役社長 Kang Joo-an

所在地 大韓民国 ソウル市

資本金 約8,758億ウォン

路線数 国内線 12都市、16路線、66便/日

国際線 17か国、62都市、74路線、468便/週

2006年度 おもな出来事

2006

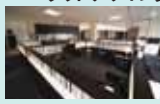
- 4月 1日・国内線に新運賃『旅割』スタート!
3日・『株式会社ANA総合研究所』を設立
25日・上海～西安線でコードシェアを開始
28日・2006年3月期決算発表
- 5月 1日・『株式会社ANAグランドサービス』を設立
10日・上海航空が『スターアライアンスに加盟』方針を発表
22日・中国国際航空が『スターアライアンスに加盟』方針を発表
- 6月 2日・成田空港第1ターミナル南ウイングオープン!
スターアライアンス各社が集結



成田空港第1ターミナル南ウイング

- 2日・スイス インターナショナル エアラインズとのコードシェア開始
28日・第61回定時株主総会開催
- 7月 12日・新会社「楽天ANAトラベルオンライン(株)」を設立決定
・ボーイング747-400型機6機の売却決定
- 8月 2日・「ANA&JPエクスプレス」初便就航
17日・双日(株)とパイロット派遣会社を共同出資により設立

- 9月 1日・国内線に新搭乗サービス「スキップサービス」を開始!
- 10月 1日・地域福祉の「赤い羽根共同募金」に協力して45年!
2日・「ANA Lounge」と「able端末」がグッドデザイン賞を受賞



ANA Lounge

- 5日・東京・豊洲の「お仕事体験タウン」
「キッサニア」に「空港・飛行機」のパビリオンを出展



ANA Lounge

- 15日・ANA北京マラソン開催
18日・業界初 中国における携帯クレジットカード発行
24日・『ANA楽パック』サービス開始
29日・成田～シカゴ線再開

- 12月 9日・トルコ航空『スターアライアンス』に加盟方針を発表



Skipper サービス開始

- 1月 10日・ANAと東京メトロ営業提携合意!
19日・「ANAグループ安全教育センター」設置
26日・「エアライン・オブ・ザ・イヤー2007」を受賞



ベリー・フロント編集長(左)北林専務取締役(当時・右)

- 31日・金融機関と長期コミットメントライン契約を締結

- 2月 1日・アジアナ航空と日韓間全便にコードシェアを拡大
5日・2006年度 東証「個人株主拡大表彰」を受賞

- 15日・羽田空港第2旅客ターミナルに「南ピア」がオープン!

- 3月 1日・スターアライアンス10周年キャンペーン実施を発表

スターアライアンス10thキャンペーン
25日・中部～広州線に「ANA Business Jet」を導入

ANA BusinessJet